



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

12月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

「あんなふうに」になりたい！

11月になっても夏のような日がありましたが、ちゃんと冬らしい気候になり、もう12月です。

11月中旬に、5歳児は王子小学校に行き、音楽会練習をしている5年生と1年生の歌と合奏を聴かせてもらいました。何度か交流を重ねている5年生の合奏は5歳児にとっても印象深いものであったようで、その後5年生が使っていた様々な楽器に触れさせてもらったこともあり、園に戻ってから楽器を使う様子が変わりました。友達の楽器演奏の横で自然にリズムを合わせていたり、友達と息を合わせて自分たちで思いついた曲を鳴らしてみたり、音楽に合わせて楽器を鳴らしている友達を見ていつの間にか仲間が増えていったりしました。また楽器の鳴らし方も、堂々としっかりと音を響かせて鳴らす幼児が増えました。5年生の合奏時の姿が、5歳児のモデルになっているのだと思います。

さくらだこども園では今年も園庭でたき火をしておきの焼き芋会がありました。5歳児がサツマイモを新聞やホイルで包み、4歳児は5歳児に教えてもらいながら同じように芋を包み、たき火に投げ入れ芋が焼けるのを待ちました。そばでは3歳児が、4、5歳児が焼き芋をする様子やたき火を番する保育者たちの様子をよく見ていました。園のみんなで焼き芋を美味しく食べましたが、その焼き芋のさなかから、3歳児はたき火の横で焼き芋ごっこを始めていました。美味しい焼き芋を自分たちでも作りたいという思いの表れだと思います。

子どもたちはいつでも、「自分もしてみたいな」「自分もそうありたいな」と思う姿を見ると、できる形で再現していきます。

一年の終わりを迎えるにあたり、ぜひお子さんの一年の成長を振り返って見てください。まねしたいと心を向ける人の様子を取り入れながら成長していることが見えると思います。どうぞ、新年を迎えるにあたり、お子さんと一緒に幸せな一年を思い描き、よい年をお迎えください。

今年も保護者の皆様に園評価をいただきます。皆様からのご意見をいただき、これからも、さくらだこども園が地域の中で、子どもたちの健やかな成長を支えるためのさらなる歩みを進めていきたいと思っています。

—今月の指導のめあて—



- 〈3歳児〉
 - ・保育者に受け止められる安心感を基に、自分の気持ちを自分なりに言葉でも表そうとする。
 - ・学級で表現遊びや簡単な楽器遊びをする中で、自分なりに表現する楽しさやおもしろさを感じる。
 - ・年末年始の行事や雰囲気に触れ、楽しみにしたり、季節の移り変わりを感じたりする。
- 〈4歳児〉
 - ・自分の思いやイメージをもち、言葉や動きに出しながら、繰り返し取り組むことの楽しさを感じる。
 - ・鬼遊びやボール遊び、縄遊びなど、遊び方や簡単なルールが分かり、友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。
 - ・冬の自然に触れて季節の移り変わりを感じたり、年末年始の行事を知って楽しみにしたりする。
- 〈5歳児〉
 - ・自分の考えやイメージを相手に分かるように伝えたり、友達の話をよく聞いて受け入れたりしながら、遊びを進めていこうとする。
 - ・自分のめあてに向かって繰り返し取り組み、楽しさや充実感を味わう。
 - ・年末年始の雰囲気を感じたり、行事の意味を知ったりし、楽しみにして過ごすとともに、生活に必要なことが分かり、自分のことを自分でする意識をもつ。